

写真 ⑤ 道路脇はビニールやゴミが放置されて一ぱいに……。そのほとんどはビニールでした。



ゴミの

そのためハエの異常発生の原因ともなっていることから、このゴミの山を一掃しようと、このほど市は園芸組合や地元民の協力を得て一斉に清掃作戦が行なわれ、美しい町になりました。

写真 ⑥ 部落民もでて付近のとり片付けに汗を流しました。

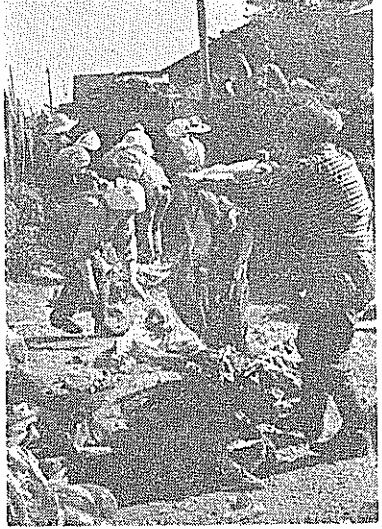


写真 ⑦ 回収されたビニールの一部は生産者の手で再生工場へ（十台余りの車の列）

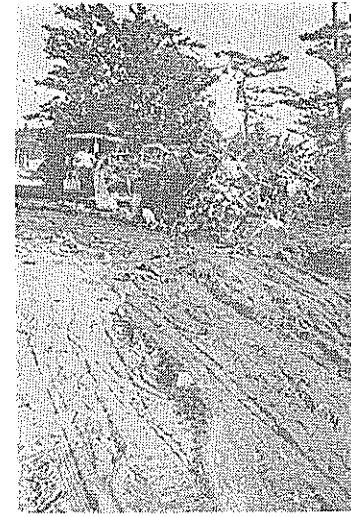


写真 ⑧ ゴミが取り除かれて広々とした道

ゴミ掃討作戦によって、できた空地については、待避所などに使用することになっていますので、勝手に耕作をしないよう、お互いに気を付け注意をし、公共の用に供するようにしてください。

また、家庭のゴミについては、簡易焼却炉を早急に設置するなどして、できるかぎり早い時期に収集を行なう計画をたてています。なお、空かん、空びんなどの危険物は、毎月第三木曜日に十市地区は回収することになっているものの、十市地区のみ地元民の協力がなく、実施されていないこともあって改めてその指示をすることにしています。

このゴミ掃討作戦に要した経費は二百万円にのぼるといわれています。

そのため市は園芸組合を通じ、ハウス農家に対して、収入を上げることにのみならず、生産を上げるための産業の残材、残がいは、生産者みずから完全に処理しなければならぬことを意識づけるよう警告をし、市もこんご強い指導を行なってゆく態勢づくりをすることになりました。

町十市で 一大掃討作戦

ゴミの町から美しい町へ生れかわった町があります。それはハウス栽培の盛んな十市海岸地帯のことで東西四町にわたり市有地や海浜などの公共用地にとりこめせましと捨てられています。



写真 ⑨ 海浜のゴミはブルドーザーの活躍で

地区民にも呼びかけて

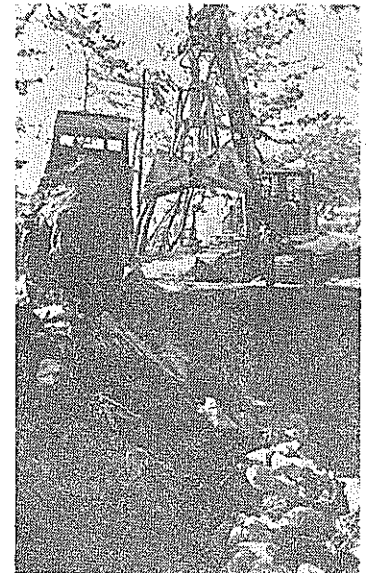
写真 ⑩ 防潮堤の下の海浜にはビニールやゴミが延々四キロにわたって



写真 ⑪ 機械力を利用して



写真 ⑫ 運ばれてきたゴミは市有地に掘った穴へ



ところで七・八月頃から取り除かれるビニールやハウスの廃材、ピーマンやナスなどの残がいなどの処置に手を焼き、海岸や道路わきの市有地、防潮林の空地などへところせましと、二十年近くにならって放置され、そのため大きなゴミの山となつてあつち、こつちと点在し、町の美観をぞこね、おとすれた人たちのひんしゅくをかっけていました。

ところで市のゴミ処理が十分でないため、これらの山に次第に家庭のゴミまでも捨てられることになり、数年前から騒がれている海岸ハウス地帯のハエの異常発生の一因になつていくことから、市は園芸組合などの協力を得て、これらのゴミの山を一掃する掃討作戦を十一月九日から十五日にわたって展開しました。

この作戦は市有地の三か所に大きなもので長さ十五尺、幅七尺、深さ六尺の穴を掘り、これらのゴミを投入し土を上にかけてふたをする。いわゆるなべぶた式で行なわれたもので、県道、市道深いに放置されたものはこの穴へ処理されましたが、海岸のゴミはブルドーザーでかき集め、穴を掘って埋めてゆく方法で東西四町のゴミがきれいに処理され、また、回収できるビニールについては、十か所